

奈良県の地震

【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

【奈良県地震概況】

【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の一覧】

【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図】

【地震一口メモ】

火山噴火等による潮位変化に関する情報のあり方と
それを踏まえた情報発信の運用改善について

「奈良県の地震」は、奈良地方気象台における地震調査の一環として県内の地震活動状況を的確に把握し、きめ細かい防災対策に資するため1989年1月より月1回発行しています。「奈良県の地震」は、上記の項目で構成し、適宜地震解説資料や用語解説等を掲載します。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体、及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

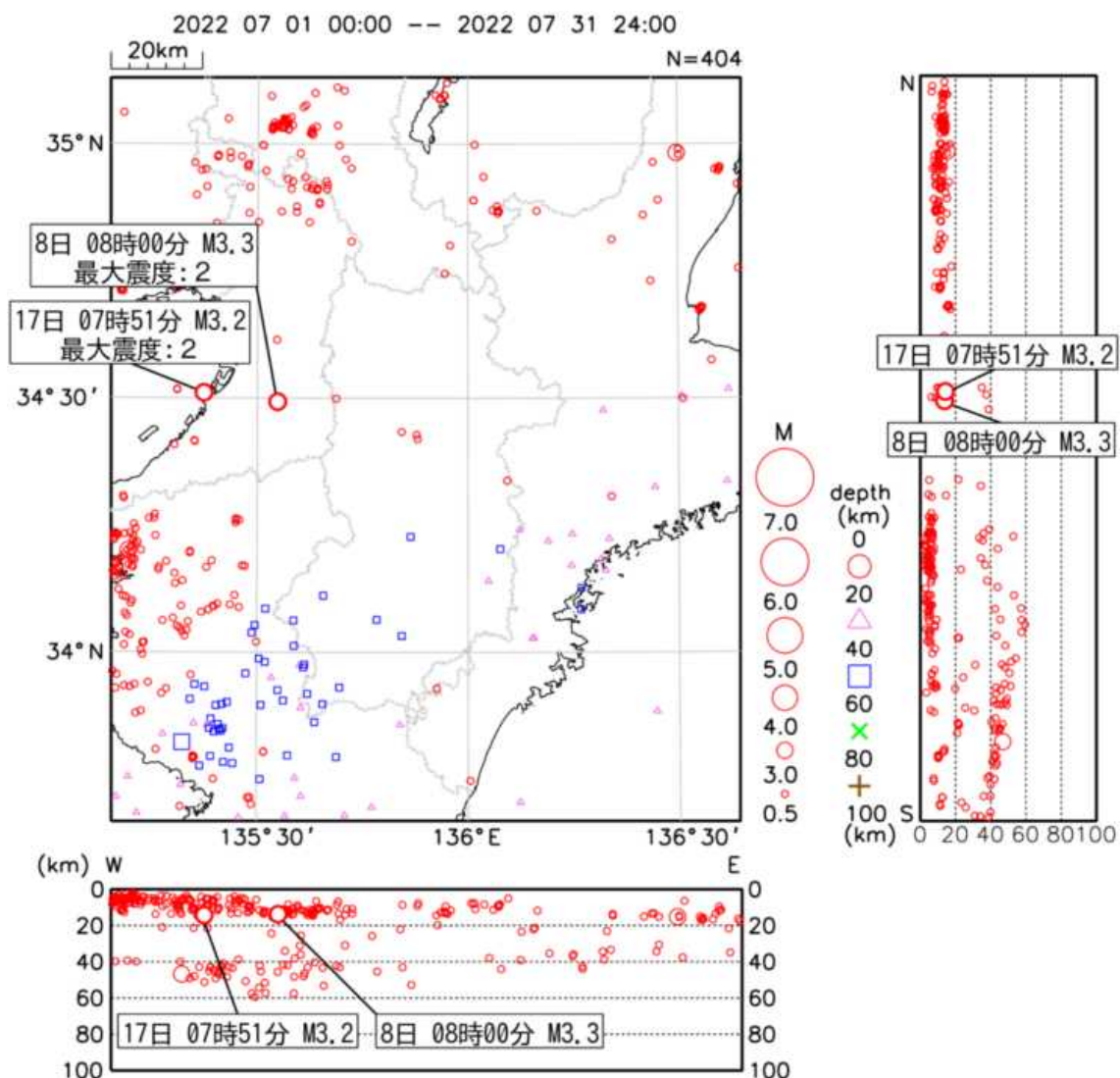
※この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

奈良地方気象台
2022年7月

【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

地図範囲内に分布している震央の南北方向の断面図(右上)と、東西方向の断面図(左下)で、地震の垂直分布を表しています。これにより、マグニチュード(M)の大きさと深さによる地震発生状況が把握しやすくなります。



【奈良県地震概況】

8日08時00分 大阪府南部の地震(深さ14km、M3.3)により、御所市・香芝市・葛城市・三郷町・斑鳩町・高取町・広陵町で震度1を観測したほか、大阪府で震度2～1を観測しました。

17日07時51分 大阪湾の地震(深さ14km、M3.2)により、平群町・斑鳩町で震度1を観測したほか、大阪府、兵庫県で震度2～1を観測しました。

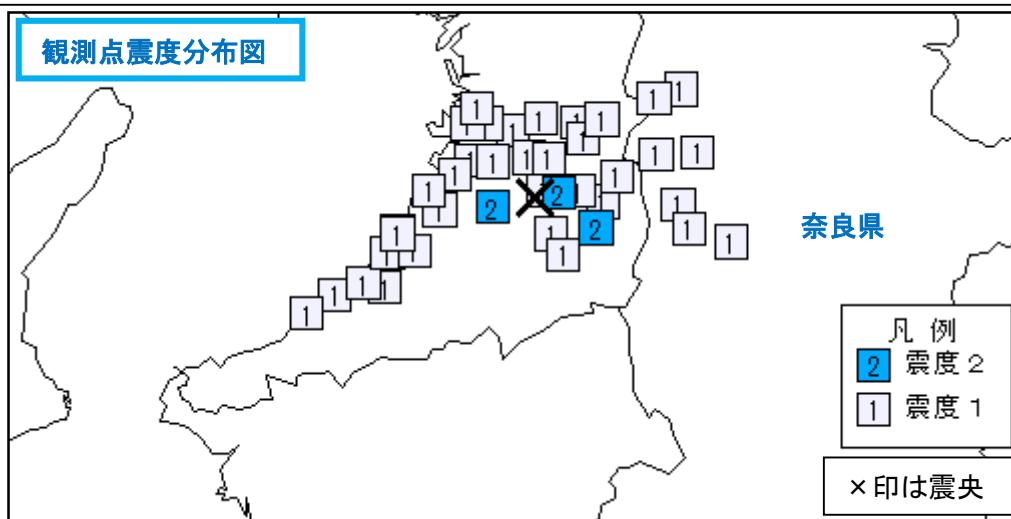
【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の一覧】

震源時(年月日時分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	M
各地の震度(奈良県内のみ記載)					
2022年07月08日08時00分	大阪府南部	34° 29.5' N	135° 32.8' E	14km	M3.3
震度 1 : 御所市役所*, 香芝市本町*, 三郷町勢野西*, 斑鳩町法隆寺西*, 高取町観覚寺*, 広陵町南郷*, 葛城市柿本*					
2022年07月17日07時51分	大阪湾	34° 30.6' N	135° 22.3' E	14km	M3.2
震度 1 : 平群町吉新*, 斑鳩町法隆寺西*					

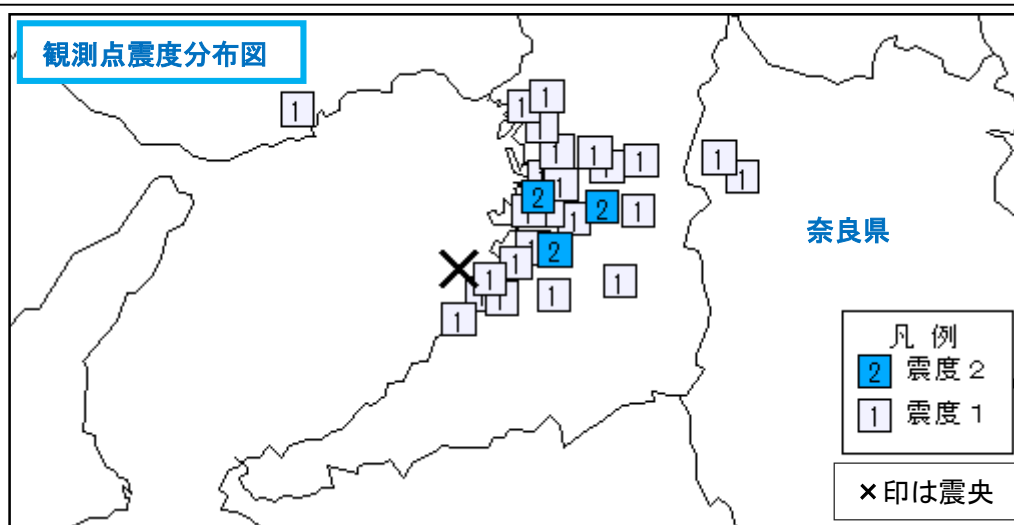
*印は地方公共団体等の震度観測点です。

【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図】

2022年07月08日08時00分 大阪府南部 34° 29.5' N 135° 32.8' E 14km M3.3



2022年07月17日07時51分 大阪湾 34° 30.6' N 135° 22.3' E 14km M3.2



【地震一口メモ】

～火山噴火等による潮位変化に関する情報のあり方と それを踏まえた情報発信の運用改善について～

「奈良県の地震（2022年2月）」の【地震一口メモ】で、1月15日に発生したトンガ沖火山噴火を踏まえた当面の対応について取り上げました。この中で、火山噴火等に伴う潮位変化に対する情報発信のあり方を討議するための検討会を開催し、令和4年度前半に検討結果を取りまとめる旨を述べました。今般、その結果が報告書として取りまとめられましたので、以下にその概要とこれを踏まえた運用改善を示します。

（1）「火山噴火等による潮位変化に関する情報のあり方検討会」の報告書について

令和4年1月15日に発生した、フンガ・トンガフンガ・ハアパイ火山噴火による潮位変化を受け、その後判明した潮位変化のメカニズム等を踏まえ、「火山噴火等による潮位変化に関する情報のあり方検討会」において情報のあり方について検討を行い、その結果が取りまとめられました。概要は以下の通りです。

- ・ 潮位や気圧の観測結果を基に津波警報・注意報の仕組みを活用し、注意警戒を呼びかける。防災対応の中では「津波」として情報提供する。
- ・ 火山噴火による気圧波に起因する潮位変化に対しては、日本に潮位変化が到達するまでの猶予時間を活用して、丁寧な解説や情報提供を行う。
- ・ 気圧波以外にも、山体崩壊等の火山現象により潮位変化が発生する場合があります。観測結果を基に津波警報・注意報を発表する。稀な現象であっても防災対応につなげるためには、平時の普及啓発と、現象発生時の記者会見等での丁寧な解説が重要。

（2）上記報告書を踏まえた情報発信の運用改善について

当面の対応として行ってきた「遠地地震に関する情報」や津波警報・注意報の仕組みを用いた情報発表について、検討会報告書を踏まえ、

- ・ 気象衛星ひまわりの解析結果も用いた情報提供や、次回情報発表目安時刻の提供
- ・ 津波の発生に関係が深い観測結果が得られた際には、記者会見等での丁寧な解説・情報提供

を行う等の運用の改善を7月27日より開始しました。

詳細につきましては以下の気象庁ホームページを参照ください。

- ・ 地震や火山現象等に伴い発生する津波

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami/various_causes.html

- ・ 報道発表（令和4年7月27日）

https://www.jma.go.jp/jma/press/2207/27a/tonga_kentoukai_houkokusho.html

本紙は奈良地方気象台のホームページでも過去6年間程度分
掲載しています。
URL : <https://www.data.jma.go.jp/nara/jisin/jisin.htm>

